

○議長 宮城清政君 これから質疑に入ります。質疑はありませんか。11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄君 1点だけお聞きしたいのですけれども、一般会計からの繰り入れが今度はなかったとのことですが、これはなくても大丈夫ということなのですか。昨年度は赤字決算、連結でも赤字を出していて、それとももっと補正をするのですか。もう少し詳しく説明をお願いします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 金城宏伸君 お答えします。一般会計でもご説明がありました。今回の赤字が、8億円から9億円ほど国保で出る予定です。今まで4億9,000万円あまり、約5億円の繰入流用を去年もしました。今回も約3億円から4億円赤字が出るだろうということで、おおむね8億から9億円の赤字を予定しています。それを受けて、連結決算の黒字のために一般会計で9億5,000万円を予備費に計上ということです。これについては、前期高齢者の交付金が町長はじめ沖縄県の賠償で国・政府に陳情して、原因については国も分かったということで一定の理解を示しているということです。これがどうかたちで交付金が増えるかについては、まだはっきりしておりませんが、沖縄県全体としても平成30年度の都道府県の単一化に合わせて交付できるのかということところです。例えば交付金があった場合、当然、国保にくるはずですので、国保で受けて赤字を減らしていくとかたちを取ったほうがいいと、南風原町としてもこれだけ赤字が増えているのですよということを国にもぜひ見て欲しいということで、南風原町は赤字計上を増やしていくということで、今回の繰り入れはしてございません。

[「休憩願います」の声あり]

○議長 宮城清政君 暫時休憩します。

休憩（午前11時41分）

再開（午前11時46分）

○議長 宮城清政君 再開します。他に。8番 花城清文議員。

○8番 花城清文君 1点だけ聞かせてください。予算で言うと15ページですか。それから、皆さんの概要説明で言うと1ページです。4款1項1目、療養給付費。平成26年度の変更申請に基づいて減になったと、これは国の負担金ですか。療養給付は上がってきた、けれどもの変更申請で減になった理由。変更申請で減になった理由、どういった理由で減になったのか。制度が変わったのか、それとも何か負担率と言うのか給付率が正されたのか。その変更になった理由、申請しなければならない理由をもう少し詳しく説明してくれますか。療養給付は皆さんが言うように、歳出の2款1項で増えましたね。けれども、そ

平成27年第1定例会3月9日

ここで言う財源の内訳からすると、2,000万円国の交付金が減っているわけでしょう。これも皆さんの概要説明からすると変更申請に基づいてとのことですから、その変更申請をしなければならない理由、なぜそうなるのかをもう少し詳しく説明してくれますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 金城宏伸君 お答えします。議員の質問は15ページの2款1項1目、療養給付費の件だと思います。950万1,000円の補正増ですということで、財源内訳で国・その他一般財源ということで動いています。これについては、まずその他というのは一般会計繰り入れなどそういうものがございます。あるいは税が増えたとかいうものが一般財源になりますので、例えば今回、繰入金12ページ、3,800万円あまり増になっていますうちの1目、4目、7目が給付費等に充当するわけです。ですから、このへんの都合で国庫金を減らしてその他の収入とか一般財源、税などで充てましたということです。給付費、支払う額は増えていますよ、この財源はどこから充てましたよという表し方です。国庫金を減らしてした部分、一般財源、税の部分あたりをここに充てましたよという表し方になります。この財源をトータルして950万1,000円を増やしたということです。そのほうが補正額0円で財源補正と右側に書かれているのも、実際同じ額なのですけれども、国やその他の部分が増えたり減ったりして財源が変わりますよということですね。16ページ以降、何点かありますけれども、国・県あるいはその他の部分をどこに充当するかという振り分けでございます。以上です。

○議長 宮城清政君 8番 花城清文議員。

○8番 花城清文君 今説明がありました、概要説明で1,762万5,000円減になっているわけでしょう。歳出では療養給付費が増えているのになんでそこに変更申請しているのか。増える変更申請なら分かるが、減になる変更申請というところをもう少し詳しく説明してくれますか。減額申請をやる理由を聞きたいわけです。歳出で増えている、補正増しているわけでしょう。けれども、交付金などが1,762万5,000円減額になるということで、減額補正されるのですからその理由。歳出は増になるのに歳入が減になる理由、その変更申請の理由がよく分からないので説明してくれますかということです。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 金城宏伸君 お答えします。歳出が増で歳入がなぜ減かの質問ですね。療養給付費が増えると基本的に歳入7ページは32パーセント増えるのが普通です。今回については、退職分はまた別なのですけれども、その他に入る収入ですとか一般療養給付費から

この分は引くとかいろいろございます。そのへんの変更をしていくと、実際は歳入について実績で計算するところはマイナスになりましたということで、議員が言うようにここが伸びると当然伸びるということなのですけれども、計算をするとこの数字が出ましたということです。単純に32パーセント掛けるということではありません。そういうことで、逆転のかたちになっていきますけれども、実はそうになりましたということでございます。

○議長 宮城清政君 8番 花城清文議員。

○8番 花城清文君 歳出をまずしっかりと予算措置をしていく、そして財源をそれに補填していくというのが国保運営の原則でしょう。だから先に言いましたように、同時に歳入も確保しなければならない。歳出をしっかりと責任持てる運営をしなければならないので、当然歳入も確保しなければならない。そういったことで今質問しましたが、いろんな条件がそこにはあるわけですね。条件を揃えてやってみたら変更申請を実績に基づいてということになるのでしょうか。そういう実績に基づいて財源の確保できた、だから変更申請をしたということで解しているか、どうでしょうか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 金城宏伸君 ご説明します。国保の給付費ですが、去年の実績は約21億円です。多い月は2億円超えます。少ないときには1億7,000万円だとか、月々で変わりますので、最終補正としては当然歳出に合わせて最大限と言いますかいつでも払える予算を組まなければいけないという部分がございます。歳入はくる予定で抑えて組むというところがございます。そういうこともありまして今回このような差がございますが、歳出についても若干と言いますか余裕で組んでいて、おおむね5,000万円は多めに組んでいます。ですから、最後に不用額のかたちで決算のときに出てくるとご理解をお願いしたいと思えます。

○議長 宮城清政君 他に質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○議長 宮城清政君 質疑なしと認め、これをもって質疑を終わります。ただいま議題となっております議案第18号については、委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長 宮城清政君 異議なしと認めます。よって議案第18号については、委員会の付託を省略することに決定しました。これから討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

平成27年第1定例会3月9日

○議長 宮城清政君 討論なしと認め、これをもって討論を終わります。これから議案第18号 平成26年度南風原町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）についてを採決します。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長 宮城清政君 起立全員であります。よって本案は、原案のとおり可決されました。休憩します。